

1. 成績開示に関する要望

[資料1-1] 成績評価の開示を求める学生からの意見

成績の判断基準が分からず、納得がいけないことがある
・テストの答案返却をする　・判断基準を明確に示す
結果が5段階でしか分からないので、次につなげることができない。
評価だけでなく、具体的な点数も知りたい
成績発表時にCAP数解放条件を満たしているか表示してほしい
学期の途中に成績の立ち位置を知らなければその後学期末までで授業態度に改善の余地がない
テストの答案とレポートの返却
不合格やA+でないならその理由も知らせてほしい。
成績の評価の点数配分がどうであることを示してほしい。そこが分からなければ、自分のどの点が良くなかったのかが明確にならない。
課程平均の成績がよくわからないこと
成績評価が教授の学生に対する好き嫌いに少なからず影響していると感じるのであり具体的に成績を開示してほしい。

II. 学費に関する要望

[資料 2-1] 府大独自の奨学金制度について

○「後援会と連携し、優秀な学生を獲得するための府大独自の奨学金制度を設立する。(平成 28 年度 年度計画より)」

○大阪府立大学グローバルリーダー育成奨学金制度について
(平成 28 年 11 月 8 日 部局長連絡会議より)

<対象>

本学に在籍する学域 2 年次生

<目的>

本学の学生のロールモデルとしての活躍を期待して、グローバルリーダーとなりうる人材を育成するため、学業、人物ともに優秀な学生に対し奨学金支援を行う。

<応募要件>

「1 年次の GPA3.2 以上(39 単位以上)取得」「TOEIC スコア 700 以上、または他の外国語を同レベルで習得」「グローバル経験・ボランティア経験・表彰実績などがあること」「保護者または本人が大阪府立大学後援会に入会していること」「授業料など学納金を滞納していないこと」

以上のすべてを満たすこと

<給付期間>

1 年間(但し、受給 1 年目に特筆すべき成果を収めた奨学生については、2 年間の継続給付を可能なものとする)

<給付人数>

10 人以下

<給付金額>

30 万円(年間 1 名あたり)

〈給付を受ける学生の義務〉

授賞式の出席・グローバル特待生(仮称)として、要請のあった大学での関連行事(入学式・表彰式・オリエンテーション・学長等とのミーティング)への出席、スピーチ、プレゼンテーションの義務

〈期待される活動または役割〉

- ・グローバル特待生としての学生FD的な活動、プロジェクトの実施等
- ・何らかの留学、語学研修などの海外渡航プログラムへの参加
- ・副専攻「DCC フランス語コミュニケーション学」「グローバルコミュニケーション」などの履修
- ・学生サポーターとして国際交流活動に参加
- ・I-wing なかもずのレジデントサポーターとして国際交流に貢献
- ・学内・学外広報への貢献(MICHITAKE・府大後援会など)

この奨学金制度は平成30年度の2年次生から適用されるものであるため、現在在籍している学生は応募することはできません。また、応募要件の全てを満たす学生はごくわずかしかいないと学生自治会は考えます。

さらに、受給後の義務や継続受給のために大学側から学生に期待される活動・役割の学生に対する負担も決して軽くないため、学生の望む学習や活動によってはこれらの事が妨げになりうると学生自治会は考えます。

したがって、大阪府立大学グローバルリーダー育成奨学金制度は、現在在籍している学生のみならず今後入学してくる学生のほとんどにとって有益な制度であるとは言いがたいと学生自治会は考えます。

[資料 2-2] 奨学金制度に関する学生からの意見

○現在奨学金を受けている学生の意見

奨学金だけでは授業料をまかないきれないので、もう少し上げてほしい。
利子をもう少し下げてほしい。 返さい金額が借りた金額より 100 万も多たってさすがにきびしいです
給付制にしてもらいたい。
家族の所得に関係なく奨学金を受けられるようになりたい
利息なしの奨学金の申込制限の緩和と人数の拡大
授業料分の奨学金を受けているが、下宿したいのでその分の奨学金もほしい。
複数受けられるようにしてほしい。
給付や返還全額の免除・減額があればよい

○奨学金を受けていないが望んでいる学生の意見

給付型の紹介 してほしい
手順がめんどくさい。基準がきびしい（親の収入など）
学費を親ではなく自分で払えれば嬉しいので成績優秀者などは親の収入を考慮せずに支援を受けたい。
奨学金制度の説明が分かりにくいので、分かりやすく説明してほしいです。 また、自分が受けられるか分からず受けていない人もいると思うので、定期的に奨学金に関する説明会や相談会を、もっと入りやすい雰囲気で行ってほしいです。
基準を低くしてほしい(年収)
申請できるものが少ない。
もう少し多くの人にとれるようにして頂きたい。
所得の関係のない（もしくはもっと制限のゆるい）給付型奨学金がほしい。
成績優秀者には年収問わず給付型の奨学金制度が欲しい

[資料 2-3] 奨学金制度に関する学生からの意見

○現在減免制度を受けている学生の意見

減免申請を分かりやすくしてほしい。
授業料減免の審査に成績基準があるのに反対である
家計的に関係なく、成績で決まる減免制度も欲しい。少し家計が良くなったところで払い切れない。もう少し上限に余裕が欲しい。
収入による制限がきびしいです。
助かります
半年制を一年制に変更してほしい。
所得基準が厳しい →成績基準を引き上げて、勉強できる中流層に受ける権利を
もう少し、全額免除の枠を増やしてほしい。
システムが微妙にわかりにくいです。
家の収入で受けられないというのが分からない、頑張った人間が受ける権利がある

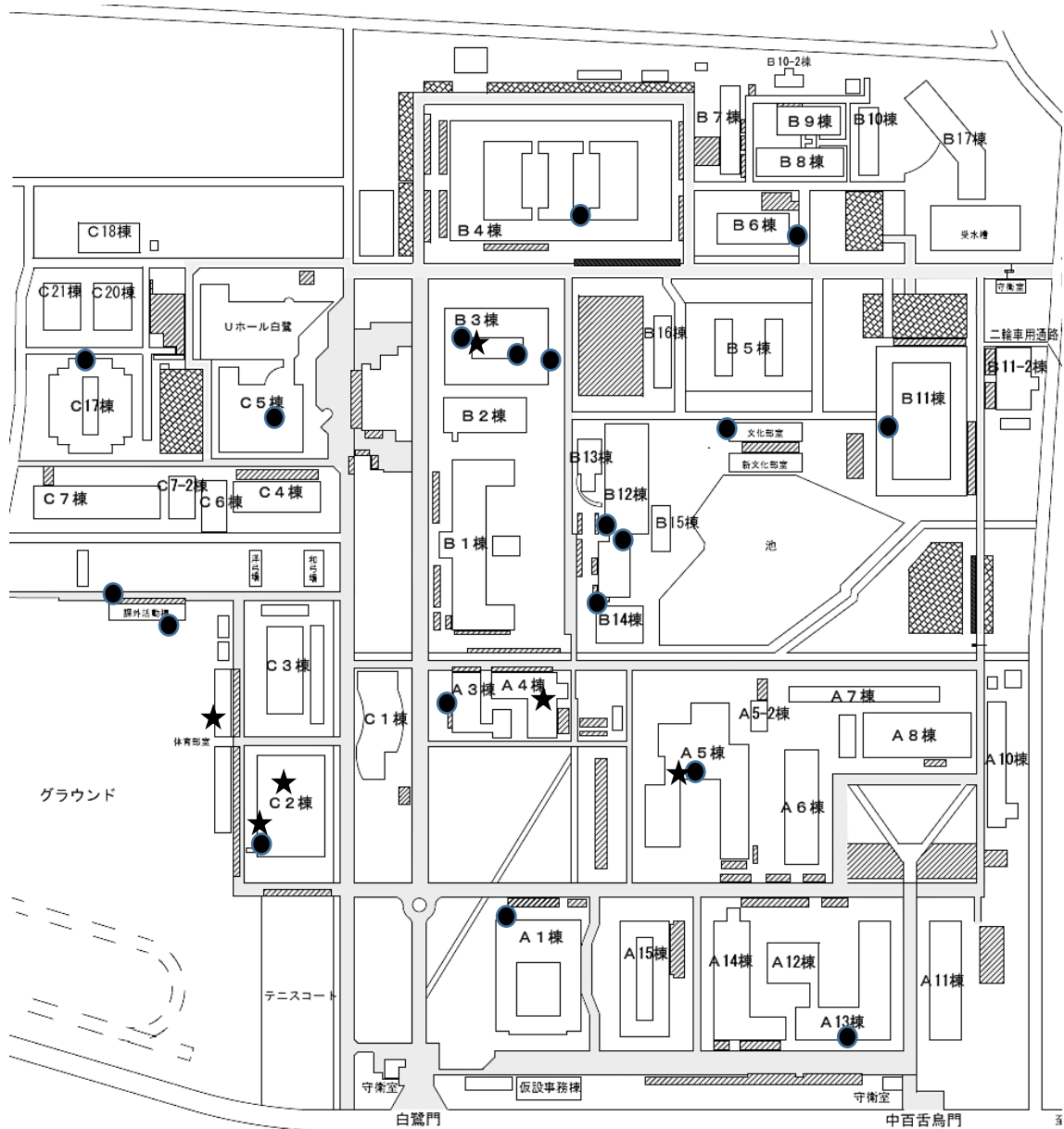
○減免制度を受けていないが望んでいる学生の意見

その制度の実施をもっと大きな形で伝えてほしい。メールでの配布など。また、その対象条件なども詳しく載せてほしい。
仕組みとかいまいちわからない
成績ではなく収入だけで基準を設けてほしい
授業料減免の判断としてももう少し所得制限をゆるくしてほしい。
成績が優秀なら受けられる制度に。
条件をゆるめてほしい（成績等）
具体的な評価基準の説明会をしてほしい。
年金は計算すべきではないと思う。
監査制度などをもっと厳しくしてほしいです。
成績が 1/2 以上 1/3 未満かつ最低生活費の 1.3 倍以下の人には 1/4 減額にしてほしい。

Ⅲ. 設備に関する要望

[資料 3-1] 現在の各設備の設置場所

○なかもずキャンパス



『中百舌鳥キャンパス構内交通規制図(学生生活の手引き)』から作成

- 自動販売機
- ★ 冷水機

○りんくうキャンパス

自販機：1F テラス, 2F カフェテリア

冷水機：なし

ウォーターサーバー：2F カフェテリア

[資料 3-2] 各設備に関する要望の多かった場所

自販機：A15、B11、4, 5F(りんくう)

冷水機：図書館(C5)、学館、B4、文化部棟、課外活動棟、中庭(りんくう)

ウォーターサーバー：シュライク、C5、カフェテリア(りんくう)

※各設備に関して「各棟」という意見も多く見受けられました

[資料 3-3] 設備に関する学生からの意見

自動販売機は種類を増やしてほしい。
24 時間使えるようにしてほしいです。できればコップがあれば便利です
自動販売機での生協カード対応(生協カードでの購入ができるようになると嬉しい)
災害などの非常時にお金がなくても飲み物を得られる自動販売機(B3 棟の前にあるもの)をもっと増やしてほしいです。
ベーカリーカフェに 100 円コーヒーを設置していただきたいと切に願う所存である。
冷水機を利用することがあるが、水がまずすぎてのめない。
コストコがほしい
アイスの自販機がほしい
食べものの自販機←夏休みとか部活ある人うれしい
グラウンドの冷水機が汚いので、きれいにしてほしい
安くしてほしい

IV. 受講申請に関する要望

[資料4-1] 教養科目の事前申請の取り消しを求める学生からの意見

取り消しやすく。シラバスを先生にきっちり書かせて。
教養科目の申請期間を遅くしてほしい。
期限をすぎれば、一切申請できないのは酷すぎる。せめて、必修は、許して上げてほしい。申請を忘れただけで留年というのは、よく分からない制度。
なぜ取り消しできない？
必修科目の申請後教養科目の申請の方が分かり易いと思う
一般教養も受講申請後に取り消せるようにしてほしい
ミスで必修科目のところに入れてしまい困ったことがある システム上で弾くか、もっと分かり易い表示がほしい
一般教の抽選日程を改めるべき。学生はシラバスからしか情報を得られないので、大幅な変更はすべきでない。
後期抽選締切が、成績開示の数日後であることに違和感あり。
初回の授業を受けてから判断できることが望ましいので、原則取り消しができない現制度は改善してほしい。
前後期の受講が始まってから1週間の講義を受けてみて選ぶという期間があるが教養科目は抽選で決まってしまうし、必修は必ず取るため、その期間が意味ない気がする。教養科目も試しに受ける期間が欲しい。
免除になった必修の授業コマに教養科目を入れようと教務に連絡したところ。なしのついでで結局とれませんでした。改善を強く願います。
第1希望が1つも通らなかった
一度受講が決まると取り消せないため、シラバスの情報のみで履修を決めなければならない状況でシラバスとまったく異なる成績評価をすることは理解できない
必修科目は、自分で申請するのではなく、忘れてしまうので、学校側でやっというしてほしい。
一般教の発表から申請〆切まではやさすぎる
教養科目においてシラバスの記載と異なる点があったさいに受講拒否ができない。